

平成 19 年 2 月 11 日

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」
マニユライフ生命保険株式会社

「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」贈呈先決定

全国の小児医療現場の専門施設・団体による応募から

「子どもの療養環境向上のためのアイデア」7 件を選考

～「第 11 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」同日に発表・贈呈式を実施～

子どもの医療や健康の支援・療養環境改善のために全国的にみても先駆的な活動を進めている特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)では、「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」の一環として、全国の子どもが入院または通院する施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つユニークで有益な特別企画のアイデア募集を実施しました。その結果、全国 9 施設・団体から計 10 件のアイデア応募があり、慎重な審査選考の結果、うち 7 件のアイデアを支援対象として決定、2 月 11 日(日)に開催されたイベント「第 11 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」のプログラムの一つとして、寄贈先発表と併せて贈呈式を行いました。

「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」は、NPO「子ども健康フォーラム」の活動趣旨に共鳴したカナダ系生命保険会社のマニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼 CEO ジェフ・クリックメイ)と全国の同社職員の社内募金協力により寄贈された寄付金をもとに、NPO「子ども健康フォーラム」が、子どもの療養環境改善を促進するため、全国の子どもが入院または通院する医療施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つより新しく有益な特別企画のアイデアを公募し、優秀なアイデアに対してこの寄付金による助成をするものです。

愛知万博に因んで 2005 年に実施され大きな反響を呼んだ「マニユライフ折鶴寄付金キャンペーン」に引き続き、2 度目の実施となる今回は、合計 1,288,349 円が「子ども健康フォーラム」に寄贈され、それをもとに行ったアイデア公募には、前回は上回る件数、企画内容のご提案を得ることができました。「子ども健康フォーラム」による厳正な審査の結果選ばれた 7 施設・団体代表の顔ぶれ、各企画内容は別紙の通りです。2 月 11 日(日)に、あいち小児保健医療センターで開催されたイベント「第 11 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」内で贈呈式を行い、各施設・団体の代表に寄付金が寄贈されました。

アイデア募集の詳細については、下記 URL でもご覧いただけます。

http://www.npo-cln.org/frame_new.html

(ご参考資料)

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市、センター長 長嶋 正實)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。

「第11回 21世紀愛知の子ども健康フォーラム」について

特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)は、2月11日(日)に、将来を担う子どもの心と体が健全に育つことをテーマとするイベント「第11回 21世紀愛知の子ども健康フォーラム」を開催いたしました。愛知県内唯一の小児医療専門施設として先進的な医療を受け持つ、あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市、センター長 長嶋 正實)を知っていただくと同時に、小児虐待、現代の食生活に影響を受けた子どもの肥満、病気などを食育で改善し、また少子化の現状や子育て問題の解消を図ることを提案いたしました。詳細は(<http://www.achmc.pref.aichi.jp/S010/第11回フォーラム.pdf>)をご覧ください。

「マニユライフ折り鶴寄付金キャンペーン」について

同キャンペーンは2005年に実施され、マニユライフ生命の全国のプランライト・アドバイザー(営業職員)を通じてお客様に折り鶴作成を呼びかけ、折り鶴の数に応じた寄付金と、任意の寄付金を同社社員及び会社として拠出し、「子ども健康フォーラム」に寄贈したものです。マニユライフ生命は、愛知万博のカナダ館協賛企業として万博の機会を活用し、社会への貢献と、日本とカナダ、世界の青少年の交流につながる活動等を支援する中で、日本とカナダの病気と闘う子どもたちの交流イベントを開催しました。さらにそれが発展して、同キャンペーン実施につながったものです。

前回の贈呈先施設・団体と対象の活動アイデア

(「マニユライフ生命折り鶴寄付金キャンペーン」寄付金贈呈先、2006年中に実施)

- ①愛知国際病院(愛知県日進市)『わかっていけばこわくない!』
- ②あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)『わくわくカートで かーっとぼそう!!』
- ③大阪大学医学部附属病院小児病棟(大阪府吹田市)『ドイツ、ニュンベルク市のクノフィツシュ子ども病院院内学級と「発達援助の輪“幼稚園ごっこ”』
- ④順天堂大学医学部附属順天堂医院(東京都文京区)『小児病棟における子ども・家族支援の充実を目指して』
- ⑤藤田保健衛生大学第一教育病院(愛知県豊明市)『年長児や小学生も楽しく遊べるプレイルームを!』
- ⑥メンタルケア なないろの森(愛知県名古屋市)『ぼくの絵本、私の絵本』

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています(2007年1月末現在)。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2006年9月30日現在3,810億カナダドル(3,410億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)